

はままっ で Work Life はたらく



※Zutto：進学も就職もずっと地元

浜松にはどんなシゴトがあつて、先輩たちは、なぜその職業を選んだのか。一度は浜松を離れ、就職のために戻った人。浜松に来て、浜松を選んだ人。ずっと浜松で生活することを選んだ人。浜松で暮らし、いま働いている先輩の仕事内容や働き方、ライフスタイルをインタビュー取材しました。



自社開発の人工衛星の試作品

勤務先

原田精機株式会社
[北区東三方原町]

1970年に設立。自動車、オートバイ、航空機、人工衛星などに使われる精密部品の設計・開発・製造を行う。製品化される前の試作品の製作・開発も手掛ける。最近では、地上を撮影するカメラを搭載した人工衛星の自社開発にも取り組んでいる。

NC旋盤

加工する材料を回転させ、そこに刃物を当てて不要な部分を削り取る工作機械。NC旋盤に限らず、どの機械も担当者がコンピューターを使って操作している。

5軸制御マシニングセンタ

複雑かつ高精度な加工が必要な部品を同時5軸加工で、短時間に加工できる機械。

01 | 精密部品の製造

浜松から宇宙へ! 自社開発の人工衛星に託す夢

広 い工場の中に最新鋭の大型機械がズラリ。従業員はコン

ピューターを使い、一人で2、3台の機械を操り、複雑な幾何学形状の3Dモデル製品を削り出していく。原田精機は、自動車やオートバイ、航空宇宙機器の人工衛星などの製品や部品の設計・試作・製造を一貫して手掛ける会社だ。試作品の依頼は多く、製品の特性上精密かつ複雑な形状を求められるため、試行錯誤しながら作り上げていく。宇宙開発品は地上で使われる品質保証より基準が厳しく、さらに高度な技術力と管理能力が必要だ。気象衛星「ひまわり」や通信衛星など、今では私たちの生活に欠かせない役割を果たす衛星の全てに同社の製品が採用されている。

自社開発中の超小型人工衛星は、地球観測衛星として海外との開発競争になっていて、今年から来年にかけていよいよ宇宙に飛び立つ予定だ。従業員は皆、自分たちの会社が宇宙で役立つ技術を持つことに大きな誇りを抱いている。いずれは宇宙機器を担当するのが若手の目標だ。果てなく広がる大きな夢が、ものづくりの情熱をいつそう高めている。

産業用ロボットによる
精密部品の設計、試作開発、製造

吉川真基さん[23]
よしかわ まさき

出身地 浜松市
出身高校 浜松城北工業高校 機械科
■就職までの経緯 高校入学時から、卒業後の進路は就職を前提に考えていましたが、就職活動で希望にあった会社に出会えませんでした。「とりあえず知識と技術を高めよう」とポリテクカレッジ浜松に進学。2年時の就職活動で会社見学を経て就職しました。**■仕事の面白み** 初めはただのブロック状の金属が、自分の作ったプログラムで設計通りの形に切削加工され、製品として仕上がっていくところ。機械部品なので一般の人の目に触れることはありませんが、繊細で重要な役割を担っていると感じています。

産業用ロボットによる
精密部品の設計、試作開発、製造

河合将史さん[27]
かわい まさし

出身地 浜松市
出身高校 浜松城北工業高校 機械科
■就職までの経緯 高校時代、進路を考えるにつれて「このままどこかの会社に就職できたとしても一人前としてやっていけないのでは……」と不安を感じ、より深い知識を学ぶためにポリテクカレッジ浜松の生産技術科に進学。ポリテクで学んだことが大きな自信になり、気持ちも前向きになって当社に就職しました。**■この仕事を選んだ理由** 量産ではなく一点一点異なるものを作っていると知り、飽きることなくものづくりができそうだったから。**■今後の目標** 宇宙機器部門のメンバーに少しでも早く選ばれたい!

工作機械のNC旋盤により
精密部品の設計、試作開発、製造

袴田泰稀さん[24]
はかまた たいき

出身地 浜松市
出身高校 浜名高校 普通科
■就職までの経緯 僕は子供の頃からずっと野球をやっていたので、高校卒業後は大学に進学して野球を続けるつもりでした。でも父親と意見がぶつかり、結局地元のポリテクカレッジ浜松に進学することに。高校は普通科だったので生産技術の勉強は初めてで、最初はすぐにやめようと思っていました。**■この仕事を選んだ理由** 工場のラインに入るのには性格的に向いていないと悩んでいたところ、職場体験で当社の原田会長から直接仕事を教えてもらえる機会に恵まれました。一点物を作り出す面白さに魅力を感じました。



CMが無事に
流れるまでの
緊迫感

耳馴染みのある番組パーソナリティー、ゲスト出演するアーティストが社内を行き交う。

エフエム放送で
CMを流すスケジュール決めと管理

加藤千晶さん [29]
かとう ちあき



出身地 浜松市
出身高校 浜松市内の高校
勤務先 静岡エフエム放送株式会社
業務部 [中区常盤町]

■この仕事を選んだ理由／大学に入学当初は養護教諭を目指していたけれど、就活の時期が来てから他の仕事も考えるようになりました。それでいろいろな会社を調べていた時に、当社は地元で有名だし、自分も音楽が好きで、子供時代に父の車の中でラジオをよく聴いた記憶があるので、いいなと思いました。■就職までの経緯／大学の福祉系学科を卒業して、最初に就職したのがK-mix。今年で7年目になります。■仕事の面白み／いろいろなアーティストが来社するので、好きなアーティストが来た時は遠くからのぞいたりしています。安室奈美恵さんを見たときの印象は、かわいくて、とにかく顔が小さかった(笑)。■休日とは？／旅行や食べ歩きが好きで、気に入った場所は会社の人みんなに紹介しています。■高校2年生へ／頑張れば、必ずどんな形でも自分のためになっていると信じて。何か1つ得意分野を見つけると、社会に出てから大きな力になると思います。

03 ラジオ局の裏方

例

例えば車に乗っている時、カーステレオから流れるのはやりの曲や軽快なトークを耳にしたことがあるだろう。静岡県内に多彩な情報を発信する「K-mix(静岡エフエム放送)」はテレビ局と同様、広告主の企業や団体などのCMによって収入を得る仕組みになっている。

加藤さんは、広告の内容に応じてCMを流す時間帯を確保し、全体のCMスケジュールを管理する仕事をしている。番組の内容によってリスナーの世代や傾向が変わるので、広告内容に合った番組や時間帯を確保しなければならない。また自動車のCMとお酒のCMを続けて流すと、飲酒運転を想起させるようなイメージになるから避けるといった細やか

な配慮も必要だ。現在は、他の女性スタッフとペアでこの仕事を担当している。「特に生放送の時は、予定通りにCMが放送されるか心配で緊張します」と加藤さん。他のことに気を取られるとミスが生じるので、時間取りの作業中は一言も私語を発しない。「でも、予定通りにCMが流れるとほっとするし、やりがいを感じます。それに、この仕事をしていると世間より一足先にホットな情報を得られるから面白いですよ」

普段何気なく耳にするCMだが、放送する側は真剣勝負。加藤さんたちの頑張りで、5年半連続無事故を達成(放送時間や内容のミスがないこと)。現在も記録を更新中だ。



気軽に頼れる
「まちの弁護士さん」

万年橋パークビルの角にあるオフィスは、建築家(403architecture[dajiba])によるリノベーション。

02 弁護士

法律の専門家として、法律相談や交渉業務、裁判の弁護などを行う

名倉祐輔さん [37]
なぐら ゆうすけ

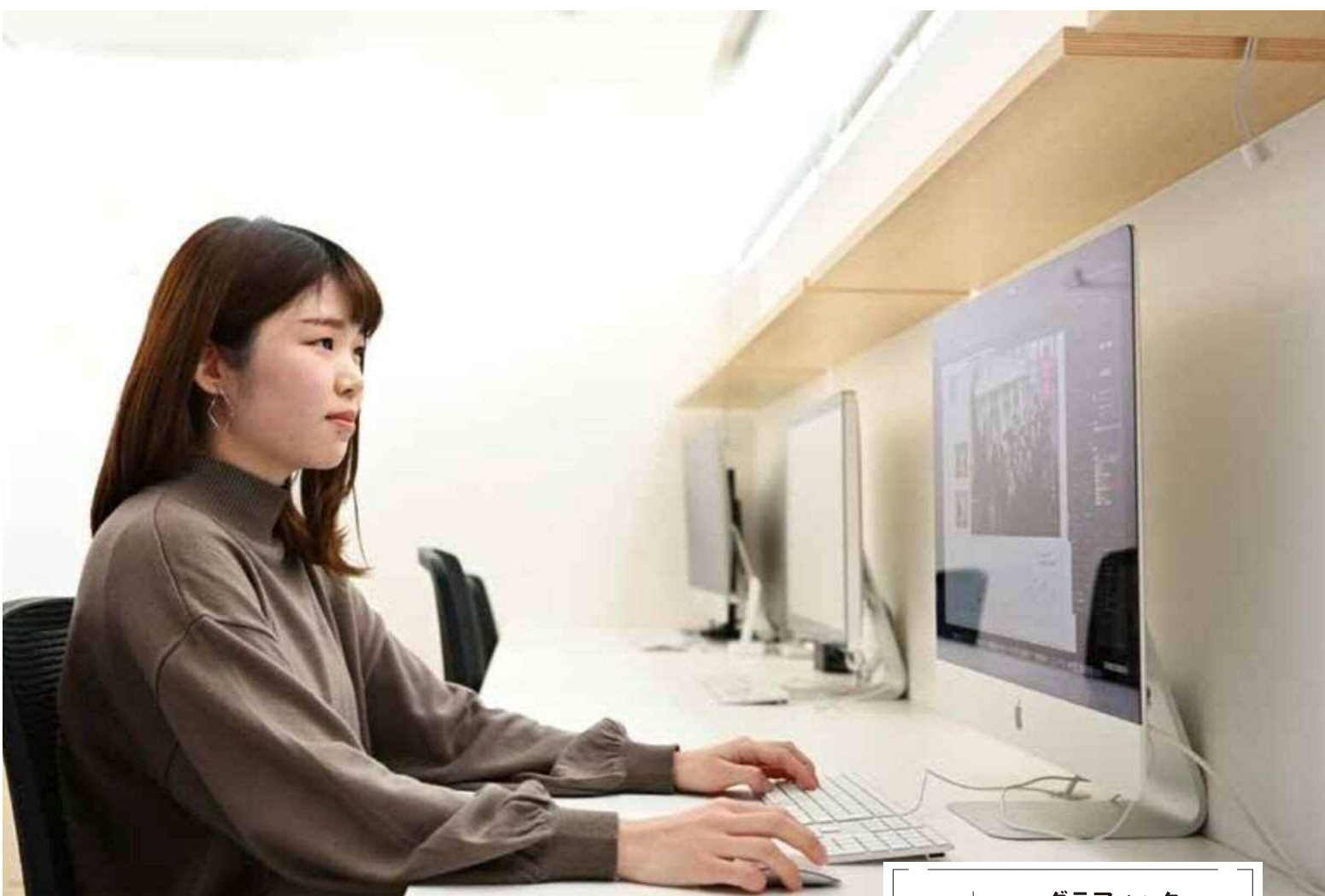


出身地 浜松市
出身高校 浜松北高校
勤務先 ゆりの木通り法律事務所 [中区田町]

■就職までの経緯／高校を卒業後、慶応大学文学部に進学。同級生たちはみんな職業意識がすごく高かったので、僕は彼らと一緒に世界に進むのは無理だと思って同学の大学院へ進むことに。その後、もっと勉強を続けたくて、今度は明治大学の法科大学院に3年間通い、みんなが受けるというから司法試験に挑戦したが不合格。そこでようやくやる気に火がついて、2回目のチャレンジで合格し、弁護士の資格を取りました。その後は沼津市の法律事務所に6年勤務してから地元で法律事務所を開きました。■仕事で心掛けていること／依頼人と程よい距離感を保ちながら、気持ちを受け入れること。■くじけそうになるとき／依頼者との人間関係が難しいですね。何らかのトラブルで心を痛めている人が多いので、どうやって心を開いてもらうかが悩みどころです。■休日とは？／妻と食事に行ったり、音楽を聴いたり、演奏したり、好きなことをやっています。■高校2年生へ／社会に出るとコミュニケーション能力が重要になるので、高校生のうちから身に付けておくといいですよ。

夕暮れ時、赤電が第一通り駅に近づく、駐車場のビルの3階に明かりがついていて、窓の向こうにカッコいいオフィスが見えた。どこかのデザイン事務所かと思ったら、実はここ、「ゆりの木通り法律事務所」という弁護士さんの事務所。普通、法律事務所は裁判所の近くにある場合が多い。でも、弁護士の名倉さんは、あえて浜松の中心街に事務所を開いた。その理由を尋ねると、「地域の皆さんがもっと気軽に相談できる法律事務所にしたかった」と名倉さん。2018年に事務所を開業以来、遺言・相続、借金問題、交通事故被害、離婚など、地域の人々のさまざまな悩み事の解決に、誠心誠意取り組んでいる。オフィスも個性的だけど、名倉さん本人の経歴も個性的。大学の文学部を卒業後、大学院を経て、「何か仕事に就かなければ」と思い法科大学院に通い、弁護士の資格を取った。浪人時代を合わせると、かれこれ10年間も東京で学生をしていたことになる。「もともと弁護士を目指していた訳じゃないから、業界の常識も分からない。だからこそ、こうして自分流のスタイルで仕事ができているのかな」

最近では、まちの人々との交流の場にも積極的に参加。これから「まちの弁護士さん」として頼りにされる機会が増えていきそうだ。



チーフデザイナーの他に同僚が一人。4月から初めての後輩が入社予定。

05

グラフィック
デザイナー

情報誌やカタログ、商品パッケージなど
印刷物のデザイン

名倉のぞみさん [23]
なぐらのぞみ



出身地 浜松市
出身高校 浜北西高校
勤務先 V DESIGN OFFICE [東区有玉南町]
■この仕事を選んだ理由／絵を描いたり、工作したりするのが好きだったことから、小さい頃からデザイナーという仕事に憧れがありました。■就職までの経緯／高校を卒業後、浜松デザインカレッジ専門学校に進み、グラフィックデザイン科で雑誌デザインの基礎を学びました。ページ数の多い情報誌などの仕事を多く受けていることや事務所の雰囲気、少人数で早くからやりたい仕事に関われそうなことからヴィデザインオフィスに就職。■仕事の内容と面白み／この市政情報誌「ずっと浜松」の誌面デザインを担当しています。読者に分かりやすく、面白く読んでもらえるデザインを目指しています。何か一つでも気付きにつながったり、きっかけになったりしてお役に立てたら最高です。■くじけそうになるとき／お客さんから繰り返し修正指示があったとき。正解が分からなくなり、迷子になります。なぜそのようにデザインしたのか、自信を持って根拠を説明できるデザイナーになりたいです。■大人になって思うこと／浜松市内だけでも、自分の知らなかった職業が実はたくさんあるということ。

年齢が近く何かと頼りにしていた先名倉さんは21歳で入社して丸2年。ヴィデザインオフィスは情報誌のページレイアウトを中心に、ロゴやパッケージ、広告デザインを手掛けるデザイン事務所だ。



名倉さんが初めて手掛けたパッケージデザイン。地元ブランド野菜で作られた付加価値の高いポテチのイメージを表現した。

「印刷物としてでき上がった成果物だけで、誰かに何かを伝える。デザインは重要なコミュニケーションツールです」
輩が事務所を離れ、この半年はアシスタントではなく自ら考えてデザインする案件が増えた。

情報をデザインで整理して 正しく分かりやすく伝える

シンプルモダンな建物、窓からのぞく中庭の緑が美しい事務所。名倉さんはこの2階で一日のほとんどの時間を大画面のパソコンと向き合う。クライアントや広告代理店などから、打ち合わせで伝えられる意図やイメージを把握し、伝えるべき情報を整理して、誌面をデザインしていく。



04

料理人

季節のもの、地元の食材をていねいに仕込み、お客さまに驚きをもたらす特別な料理に仕立てる。店は完全予約制。

懐石料理の提供

一木敏哉さん [41]
いっきとしや



出身地 周智郡森町
出身高校 森高校 (現: 遠江総合高校)
勤務先 懐石 いっ木 [中区田町]
■就職までの経緯／高校時代はただ店を開きたくて、「焼き鳥屋さんなら夕方から働けばいいからラクだな」と思い、卒業後に大阪の辻学園調理技術専門学校に入学しました。専門学校は毎日授業でおいしいものを作って食べられるから、高校時代よりもずっと楽しかった。その後、京都の老舗料亭「菊乃井 本店」に就職。28歳で浜松に「懐石 いっ木」を開店しました。■休日は?／ドライブをしていろいろな景色や建物を見たり、土地のものを食べたりします。その経験を仕事にフィードバックすることが多いです。■高校時代にしてあげよかったと思うこと／いろいろな新しいことや興味のあることにもっと挑戦しておけばよかったと思います。■高校2年生へ／今、興味のあることにどんどん挑戦してほしい。成功しても失敗しても、自発的に経験したり考えたことはこれから必ず自分の大切な財産になります。

「和食の修業は厳しくて店を開いた前の世界。漬物や和菓子の担当から始めて、刺し身の調理を任せてもらうまでに5年かかりましたが、それでも早い方です」と振り返る。高校を卒業時、「この先10年で店を出せなかつたら諦めよう」と決めていた一木さん。2006年、28歳で計画通り店を開店したが、3日目には来店客がゼロ。しかし、人通りの多い場所に店を出したことや、たまたま雑誌の取材を受けたことなどの効果もあり、徐々に来店客が増えていった。
現在では本業以外にも、和食を海外に広める活動や、大学での特別講義、舞祭祭の食事を調査・再現する「ふじのくにラボ」を主宰するなど、さまざまな活動に取り組んでいる。「料理は唯一、体に摂取できる芸術。日本が誇る懐石料理という芸術を、次代に受け継いでいきたい」と力強く語った。

未来に受け継ぐ懐石料理

漆のお椀の蓋を開けると、フワッとどだしの良い香り。懐石料理とは、一汁三菜(ご飯に汁物、おかずが三種)を基本に、旬の食材を調理して、お客さまをもてなす料理だ。